

産地パワーアップ事業評価書(収益性向上対策)

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
鳥取	6	3	3	71.7%	1	有	1	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達成となった要因は、アスパラ産地において、資材費の高騰により施設化が進まなかったことや露地栽培において病気が多発したことによる品質低下等であると判断する。成果目標が未達成となった地区に対しては、引き続き目標達成に向けた多面的な指導・支援を行う。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は71.7%となっており、未達成であった。 未達要因は、資材費の高騰により施設化が進まなかったことや、病気の多発による品質低下によるものと思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
島根	11	10	1	0.0%	1	有	1	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 松江市(水稲)について、高温障害等に伴う収量の減少、等級の低下による販売単価の下落が主な要因である。成果目標が未達成となった地区に対しては、目標達成に向け関係機関と連携し、指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は0.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、水稲の高温障害等による販売単価の下落によるものと思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導 を必要とし た地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
岡山	17	12	5	56.0%	3	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達となった要因として、夏季の高温少雨が原因で、着色不良や小粒傾向となり、単収が下がったことが要因と考えられる。 成果目標が未達成となった井原市再生協議会、新見市農業再生協議会及び総社市農業再生協議会にたいしては、目標達成に向けて引き続き関係機関が連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる5地区について、成果目標の平均達成率は56.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、夏季の高温少雨による着色不良等により単収が低下したことによるものと思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
広島	10	7	3	28.4%	3	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達となった要因としては、施設野菜において、夏季の高温障害、冬季の低温による回転数の低下等が影響したと考えられる。 成果目標が未達成となった廿日市市地域担い手育成総合支援協議会、安芸太田地域農業再生協議会、世羅町担い手育成協議会に対しては、目標達成に向けて引き続き関係機関が連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は28.4%となっており、未達成であった。 未達要因は、夏季の高温障害や冬季の低温による回転数が低下したことによるものと思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
山口	0	0	0	-	-	-	-	-	-
徳島	1	0	1	100.0%	0	無	0	<p>県平均達成率は100%と達成となった。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は100.0%となっており、達成であった。</p>

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導 を必要とし た地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
香川	2	2	0	-	-	-	-	-	-
愛媛	4	4	0	-	-	-	-	-	-
高知	11	7	4	65.6%	2	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 各種資材費の高騰による生産コストの増加や、労働力不足による栽培面積の減少、適期作業ができなかったことによる病害虫等が主な要因である。 今後は、関係機関と連携し、ハウスの保温性の向上による燃料費の削減や、ハウス内環境データを活用した増収技術の普及指導、病害虫防除の適期散布、総合的病害虫防除技術の指導等を行うことで、目標達成に努める。</p>	<p>評価対象となる4地区について、成果目標の平均達成率は65.6%となっており、未達成であった。 未達要因は、資材費の高騰による生産コストの増加や、労働力不足による病害虫の発生等によるものと思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

産地パワーアップ事業評価書(中間評価)

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導 を必要とし た地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
岡山	1	0	1	100.0%	-	-	0	県平均達成率は、100%と達成となった。	評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は100.0%となっており、達成であった。

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会(収益性向上対策)

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
鳥取県	鳥取市、岩美町、八頭町、智頭町	鳥取市農業再生協議会、岩美町農業再生協議会、八頭町農業再生協議会、智頭町農業再生協議会	4	野菜(アスパラガス)	販売額の10%以上の増加 (目標: 32.9%増加)	(H29) 43,699千円	58,084千円	45,883千円	15.1%	栽培面積が現状値よりも減少し、販売額が伸びず目標未達成となった。 引き続き、新規栽培者の募集、既存の生産者の栽培拡大を図るとともに、施設化等による防除の徹底をはじめとした適切な栽培管理の改善指導を関係機関で連携して行う必要がある。
島根県	松江市	松江地域農業再生協議会	2	土地利用型作物(稲)	販売額の10%以上の増加 (目標: 10.7%増加)	(R2) 99,633円/10a	110,341円/10a	66,202円/10a	-312.3%	高温障害や病害虫の発生による収量・出荷量の低下と、等級の低下による販売単価の下落等により、目標未達成となった。 今後は、高温耐性品種への転換、病害虫対策及び栽培管理技術の向上の観点から改善策を検討する必要があるため、松江地域農業再生協議会を指導する。
岡山県	井原市	井原市地域農業再生協議会	1	果樹(ぶどう)	販売額の10%以上の増加 (目標: 12.0%増加)	(H29) 1,141,440円/10a	1,278,572円/10a	874,927円/10a	-194.4%	栽培面積については概ね目標を達成したが、夏季の高温少雨により着色不良や小粒傾向であったことに加え、高単価の冬ぶどうが過熟により出荷量が少なかったため、達成状況が-194.4%と低調となった。 今後、高温乾燥など気象変動への対応技術の向上などの観点から改善策を検討する必要があるため、井原市地域農業再生協議会を指導する。
	総社市	総社市農業再生協議会	1	果樹(ぶどう)	販売額の10%以上の増加 (目標: 10.2%増加)	(R2) 230,177千円	253,538千円	219,071千円	-47.6%	本事業によるハウス・棚の導入等によりシャインマスカットの面積及び出荷量が増加した一方で、ビオーネを中心に高温による着色不良等により栽培を中止したため、栽培面積及び単収が減少し、出荷量を確保できず、達成状況が-47.6%と低調となった。 今後、高温乾燥など気象変動への対応技術の向上や産地規模拡大に向けた担い手確保・育成といった観点から改善策を検討する必要があるため、総社市農業再生協議会を指導する。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
広島県	安芸太田町	安芸太田地域農業再生協議会	2	施設野菜(こまつな、ほうれんそう、みずな)	販売額の10%以上の増加 (目標:59.0%増加)	(R2) 54,954千円	87,397千円	51,568千円	-10.5%	生育不良により生産量が増えなかったことと、夏季の高温による品質低下により、成果目標が未達成となった。 今後は自動灌水装置の導入により生育不良や品質低下を抑え、生産量と販売単価を上げるための生産・技術指導を実施し、目標達成を実現できるよう協議会を指導する。
	廿日市市	廿日市市地域担い手育成総合支援協議会	1	施設野菜(ほうれんそう、こまつな、みずな)	販売額の10%以上の増加 (目標:11.4%増加)	(R2) 56,839千円	63,367千円	47,937千円	-136.4%	冬期の日照不足により回転数が増加しなかったこと等により、成果目標未達成となった。 今後は生産量の増加に向けて、冬期のハウス内の温度管理の徹底、圃場センシング機器による生産管理手法の改善などの指導を実施し、目標達成を実現できるよう協議会を指導する。
高知県	須崎市	須崎市地域農業再生協議会	2	施設野菜(ミョウガ)	所得額の10%以上の増加 (目標:42.4%増加)	(H29) 2,227.7千円/10a	3,172.9千円/10a	2,950.6千円/10a	76.4%	農業経営に係る各種資材費の高騰等の影響により、成果目標未達成となった。 今後、関係機関と連携を図りながら、各種経費の削減技術(ハウスの気密性・保温性向上による重油代削減や、施肥管理の適正化による肥料代の削減等)の指導を徹底するとともに、天敵昆虫を活用した害虫防除技術の定着や発生初期を捉えるためのハウス内のモニタリング推奨等を行うことで、目標達成を図る。
	四万十町	四万十町地域農業再生協議会	3	野菜(ニラ)	販売額の10%以上の増加 (目標:12.7%増加)	(H28~H30平均) 753,055千円	848,786千円	642,862千円	-115.2%	産地全体として労働力不足によって適期作業ができなかったことや、産地規模の縮小、病害虫の被害の蔓延等の影響により、目標未達成となった。 今後、関係機関と連携を図りながら、病害虫防除等栽培管理に関する指導を行うとともに、労働力確保に資する情報提供や栽培管理の遅れを最小とできるよう巡回指導を行うことで目標達成を図る。